

古賀市議会議員 子どもたちの夢がかなうまち

〒811-3114
古賀市舞の里2-15-21
TEL/FAX 092-944-3773

森 まき NEWS

2024年7月 vol.05



6月（6/5～6/20）議会 議案と一般質問

市内公共交通の利便性を向上

小竹地区にコガバス

公共施設等連絡バス「コガバス」を小竹エリアからコスモス館、JR新宮中央駅まで延伸のため実証運行を行う他、市内公共交通の移動データ分析、近隣市町を含めた地域住民、交通事業者、福祉・介護事業者、自治体職員などにより交通課題に取り組む人材育成事業を行います。

コガバスの実証運行はバス停を9箇所ほど予定し、本年秋ごろからコスモス館～小竹区、冬頃からコスモス館～小竹区～JR新宮中央駅の運行を予定しています。



古賀市70歳おでかけバス

古賀市在住の70歳以上の方は「西鉄バス古賀市内線」及び「コガバス」を運賃100円でご乗車できます

ご利用できる方

- 古賀市に住民登録があり、在住している方
- 70歳以上の方

お問い合わせ先
古賀市役所 経営戦略課 ☎942-1113



「のるーと」乗降ポイントを増設

AIオンデマンドバス「のるーと」の乗降ポイントを新設する他、バス時刻をはじめ、バスの接近情報、コガバスの運行案内、行政情報の提供などを行うスマートバス停を古賀駅、千鳥駅、福岡東医療センターに設置します。



「古賀市地域公共交通計画」より抜粋

(2024年2月策定)

地域の移動手段確保に向けて、地域住民が主体となって地域に必要な移動手段のあり方を検討し、地域自らが移動手段を確保する取組みを行うために、既存の住民組織等を活用して主体的に検討を進めていくための組織(地域協議会)の立ち上げを促進します。また、情報提供の実施や負担の一部補助等必要な支援を検討します。

地域住民の声を活かした公共交通に

古賀市内の令和5年度の市内公共交通の利用者は25万4,000人余りで、この内「のるーと」の利用は5,300人ほどでした。実証運行を予定する小竹地区は青柳地区を合わせても3,200人ほど（「のるーと」の3分の1程度）で、固定利用者である地域住民の声を大切に取り組みよう求めました。

また、他の地域でも利便性の向上を求める意見があり「公共交通計画」に示されているように地域住民が主体となり地域に必要な移動手段のあり方を検討し、維持・確保されるよう丁寧な取組を求めました。



6月議会の主な審議

1億300万円を補正

公共交通維持確保事業や古賀駅周辺整備事業、商工業活性化事業など1億300万円の増額補正しました。当初予算では検討したが計上せず、その後国の補助が決定したため6月議会に提案された物もありました（地域公共交通維持確保事業は1頁に掲載）。

古賀駅周辺整備設計に3Dシステムを導入

建築物などを立体的に見る事ができるデータを作成し、歩行者動線の検証や基本設計、日照の影響、太陽光発電の可能性の検討に活用します。国の補助で基本設計費用の軽減も見込まれます。



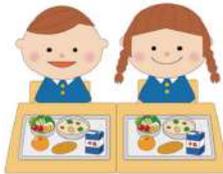
JR新宮中央駅周辺の都市景観

保育所 給食費を補助

物価高騰に対する子育て世代支援のため、保育所等の給食費の補助(1人当り月額1,100円×12ヵ月)を行います。

2023年の国内の出生者数は73万人を切りました。古賀市の同年の出生者数も384人と400人を切っています。

若い世代が仕事も子育てもしやすいまちとなるよう、今後も様々な対応を工夫し取り組むよう求めました。



電子地域振興券発行に補助

市内消費の喚起と促進に商工会が行う電子地域振興券発行に1,370万円余りを補助します(発行額1億5千万円、プレミアム率20%)。1億2千万円の市内販売を先行し、残り3千万円は市内外を問わず販売します。

紙の商品券発行は行わず、キャッシュレス推進に、電子振興券だけで行います。



この他、地方自治法改正に伴う古賀市税条例の一部を改正する条例など4件を審議しました。

土砂災害警戒区域の調査と公表

土砂災害警戒区域等について、福岡県が調査を行う箇所を抽出したところ、古賀市内で対象が80カ所あることが判明。2028年度に県が現地を調査し、順次指定を行い、調査箇所はこがまっぷや今年度改定予定の防災マップに掲載するよう取り組みます。



給食食器更新は慎重で丁寧な対応を

現在の学校給食用強化磁器食器は26年前、安全で安心な給食を求める保護者の議会請願を受け選定されました。この強化磁器食器からPEN樹脂食器へ変更が検討されていることを受け3月議会の一般質問で十分な説明と慎重な対応を求めました。その後、強化磁器食器とPEN樹脂食器を各学校で保護者向けに展示していますが、説明や意見交換ではなくアンケート調査のみが進められています。5月には教育長・市長に面談し、選定は子どもたちの立場に立ち、慎重で丁寧な対応を求めました。また、これまで取り上げてきた牛乳の残食を各学校で生徒が処分している件について質問したところ、残食の調査を行う予定とのこと、今後も引き続き動向を見守っていきます。



森 まきの一般質問

登校が困難な子どもなど学校で様々な課題が見られる。『すべての子どもたちが共に学び合うインクルーシブ教育』と、戦争終結から来年80年を迎えることから、『若い世代へ平和の継承をどう進めるか』質問しました。

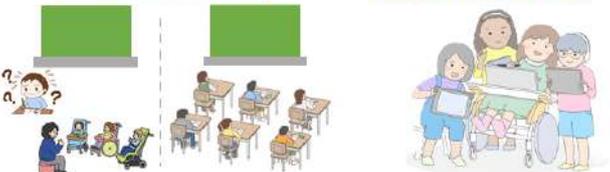
インクルーシブ教育について

インクルーシブ教育とは？

インクルーシブ教育とは、国籍や人種、言語、性差、経済状況、宗教、障害のあるなしにかかわらず、すべての子どもが共に学び合う教育のこと

現在の日本の教育

インクルーシブ教育



特別な支援が必要な子どもと、
そうでない子どもを分けて、別々の場所で教育する

国籍や人種などの違いに関係なく、
すべての子どもが同じ場所で共に学び合う

森 日本は2022年9月国連の障害者権利委員会から「障害のある子どもを分離した、特別支援教育をやめるように」勧告されている、どのように受けとめていますか。

教育長 特別支援学級との統合教育など世界レベルでの包含インクルーシブにはなっていないと認識している。法律の壁はあるが取り組みたい。

森 古賀市の教育的支援を必要とする児童・生徒の現状をお聞かせ下さい。

教育長 令和6年度の特別支援学級在籍数は、小学校322人。中学校180人。学級数は、自閉症・情緒学級など小・中学校合計83学級、通級による指導を受けている小・中学生110人です。

森 古賀市も通級指導教室の充実を図り、分離教育を見直す取り組みが必要ではないか？

教育長 通級は今年度特に注視している。自校通級という方式を今後検討協議しながら増やしたい。

森 2023年の不登校児童・生徒はどのような状況か？

教育部長 速報値だが、小学校98人、中学校133人、合計231人です。



森 こども家庭庁は2023年子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに、関係機関の役割を示した指針を策定している。古賀市も空き家、公民館の活用なども検討してはどうか。

教育部長 居場所は、地域の方が主体になり放課後子供教室などを支援してくれている。こうした取り組みを促し、充実に取り組む。

平和と継承を進めるために

森 若い世代への平和の継承にどのような取り組み・検討がされているか。

市長 学校では平和学習など、積極的に取り組んでいる。さらに、全小中学校に植樹した被爆クスノキを生きた教材として活用する。

森 古賀市は「戦争と暮らし展」などを行っている、こうした取り組みに若い世代が参加する企画を検討してはどうか。

教育部長 検討していきたい。

森 古賀市は「非核・恒久平和都市を宣言」して来年40年になる。8月の1か月、QRコード付きの懸垂幕などで平和首長会議のインターネット署名へ参加を呼びかけてはどうか。

市長 良いご提案だと思う。平和の観点から検討したい。



被爆二世クスノキ
と戦争と暮らし展



子どもたちに安心できる居場所を（3頁に関連記事）

私も子ども食堂のお手伝いをしていますが、毎回100人を超える子ども達が利用しています。私は昨年9月議会で子ども食堂の助成を訴え、この4月から実施されることになりました。素晴らしいことですが、貧困だけが理由でなく、子どもたちは安心できる居場所を求めて子ども食堂に来るのだと感じています。

移転した「あすなる教室」もすでに手狭なようです。子どもたちが安心できる「居場所」「行き場所」として第二の「あすなる教室」の検討を求めました。



子どもたちにおいしく楽しい食事と居場所を

戦争や核兵器の無い世界を子どもたちに（3頁に関連記事）

復帰52年の沖縄5.15平和行進に初めて参加しました。全国の参加者と普天間基地周辺での平和行進を行い、狭い沖縄に広大な米軍基地があり、米兵犯罪、事故、騒音や環境汚染などの基地公害、辺野古新基地建設問題など沢山の問題を抱えていることを身をもって知りました。

戦争終結から来年は80年です、戦争が内外にもたらした多くの犠牲や苦痛、損害を忘れてはなりません。平和であってこそ、安心して暮らし社会生活を営むことができます。

古賀市は「非核・恒久平和都市を宣言」し来年40年です。一般質問でもその目的が前進するよう取り組み、子どもたちが戦争や核兵器の無い安心して暮らせるまちとなるよう求めました。



全国の参加者と平和行進を行いました

政務活動費 報告

2023年度は調査研究、広聴、広報などに使用し、一般質問や広報に活かしました。詳細は古賀市HP「市議会」で閲覧できます。

項目	収入金額(円)	支出金額(円)
政務活動費	100,000	
調査研究費		7,000
研修費		
広報費		100,423
広聴費		3,000
資料作成費		
資料購入費		2,875
事務費		6,557
収支合計	100,000	119,855

議会を終えて

今年度初の議会でした。議案審議では公共交通や保育所給食費について、住民の声をしっかり反映するよう求めました。

一般質問では様々な課題を持った子どもたちが共に学び、理解し合う教育となるよう求めました。これからも市民の声を議会に伝え、議会の様子をわかりやすくお伝えしたいと思います。



みなさまの声をぜひ『歩くご意見箱 森まき』へお聞かせください。



森まき
Facebook

HUGっこ

子ども食堂「たまりんば」

「たまりんば」公式アカウント
食材の提供、ご支援はこちらまで↓



職場での困りごと悩みごとなど1人で悩まずここへ相談
まずはお電話で。
ふくほくユニオン
☎092-719-1980
(相談無料)